

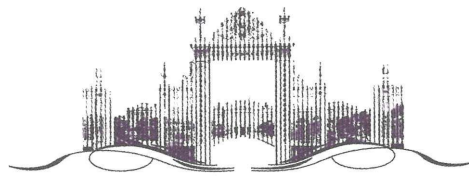


Rotary International
SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005～2006年度

国際ロータリーテーマ: カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長



Rotary Club of Tokyo-Akasaka

赤坂

東京赤坂ロータリークラブ

No.899/2006.2.24

例会/毎週金曜日12:30

例会場/東京全日空ホテルTel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「全員参加で実行しよう」

2005～2006年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ/小杉修造会長

●本日の例会/2006年2月24日第920回例会

『東京赤坂ロータリークラブ 改称記念夜間例会』

	16:30～21:00
チャリティーバザー	16:30～17:30
例会・記念式典	18:00～18:45
ディナー	18:45～19:30
祝宴	19:40～20:50
記念コーラス/赤坂男声合唱団	
記念コンサート/ジョン・チャヌ・コンサート	



2月17日/10件20,000円/本年度累計805,000円
多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

土屋東一/遅ればせながら、お誕生祝ありがとうございました。西澤民夫/一雨ごとの暖かさですね。吉田様ご苦労様です。吉岡琢磨/吉田さん、ニコニコご苦労様。一元先生、卓話楽しみです。鈴木康一/会員増強委員の皆様のご苦労がよく分かるようになっていきます。武下朗/吉田さんにニコニコ 庄司泰典/段々と暖かく日も長くなってきました。春はもうすぐですね。長谷川尊一/初めてニコニコいたします。お祝いのお花ありがとうございました。村山公士/清水さん、先日の紀尾井ホールでのコンサート、すばらしい唱歌に聴きほれました。ありがとうございました。石井謙次/用親さんに声を掛けられたもので! 吉田用親/皆さん、多額のニコニコ協力ありがとうございました。

●先週報告/2006年2月17日第919回例会

卓話:「米国のビジネススクールで教えて15年」

当クラブ会員

Peace University Graduate School of Business

渡部一元氏

幹事報告:①2月24日(金)夜間例会タイトルが「名称変更記念夜間例会」から、「東京赤坂ロータリークラブ改称記念夜間例会」へと変更になりました。

是非、ご出席のほどお願いいたします。締め切りは本日となっております。

②第2750地区の能勢陽一地区幹事から、ロータリー100周年記念行事としての「愛・地球博ロータリー館」の出品協力についての記念品をいただきました。

③「ロータリー手帳」の購入希望を受け付けております。ご希望の方は事務局までご連絡ください。1冊630円です。

④「2006年ロータリアン必携」の購入希望を受け付けております。ご希望の方は事務局までご連絡ください。1部300円です。締め切りは、2月23日(木)となっております。

出席委員会報告:(馬場一廣委員長)1月度の出席率は71.62%でした。

親睦委員会報告:(西澤民夫委員長)

3月25日(土)13時～15時ユナイテッド・シネマとしまえんにて「ナルニア国物語」の映画鑑賞会を実施いたします。ご家族と一緒に楽しみください。

出席報告:会員53名/出席35名・欠席18名(出席規定免除者5名) ビジター5名

会員事業所移転お知らせ

長谷川 尊一 君/三生管財株式会社

〒167-0032 東京都杉並区天沼2丁目4番4号

TEL (代) 03-3393-5511 FAX 03-3393-5552

*2006年3月1日(水)より(実質的には2月27日(月)より営業開始。

2月24日(金)15時で、前住所・連絡先は終了いたします)

2月度火曜会報告

2月7日(火)立春を過ぎても、まだまだ寒さ続く中でありましたが、会員16名ゲスト2名が参加し、全日空ホテル36階マンハッタンラウンジで恒例の火曜会が開催されました。今回は西澤(民)親睦委員長のご紹介で、ゲストスピーカーに経営・財務コンサルタントの小野田京司氏を迎え「元銀行員が見た企業再生」と題し、お話をいただいた。

不良債権問題の現在までの動きや債権者(銀行)、債務者相手の対応、企業再生を目指す上での留意事項等、具体的かつ、わかりやすく話され、大変有意義な内容でありました。

また、もう一人のゲストのショップ・アンド・チェック・ジャパン社長の三輪健太郎氏(元外資系投資顧問会社)からも最近の話題について話していただきました。アルコールも適度に入り熱のこもった質問も飛びかい、楽しく経営に役立つよい勉強ができた火曜会となりました。(高須 記)



1月臨時理事会議事録

日 時 2月17日(金) 12:00～12:30

場 所 東京全日空ホテル B1 オーロラ(例会場)

出席者 小杉、土屋、荒木、田村(昭)、石井、西澤(民)、村山(順不同・敬称略)

決議事項 1. 新会員候補者1名の入会を承認。

●次週予告/2006年3月3日第921回例会

◎卓話予定 「経済余話」

富士通名誉会長 山本 卓真氏

(紹介者 庄司泰典君)

第2分科会『都市型クラブの奉仕活動のありかた』

南ロータリークラブの大西議長の司会で、南の高橋会員、新橋の加藤会員、港の川上会員がスピーカーとして、自クラブでの職業、社会、国際奉仕活動について報告されました。

各々のクラブの特長が出ていて、本当にロータリー活動の幅の広さに改めて感動致しました。

南ロータリー

- ①会社と地域社会が違い、職業を通じての社会奉仕が一番分り易い。
- ②社会奉仕は各自のボランティア活動を中心として、奉仕活動を強要するのではなく奉仕させていただくという気持ちで活動する。
- ③災害、ポリオ撲滅に癌研究基金、麻薬取締り、森林保全プロジェクトetcに支援及び寄付

新橋ロータリー

- ①旨い米づくりのための【棚田】保全支援
- ②水と緑の基金として(財)日本環境協会支援。
単なる寄付活動だけではなく会員活動をしている。又、単発で終わることなく継続性を考えた奉仕活動をしている。

港ロータリー

- ①障害者のためのポニー乗馬教室の開催
(港区社会福祉協議会と協調)
環境保全に対する活動が弱いので、今後は森林保全に対してやっていきたい。又、ポリオ撲滅などの様に個々のクラブが活動するだけでなく2750地区を含め日本全体で活動出来る様にやっていくべきではないかと考えている。

その後、たくさんの質疑応答があり、参加の会員が本音で意見を言っていたことが印象的でした。(田村(昭) 記)

第3分科会『会員増強とクラブ財政の健全化』

スピーカー 神郡 英治(東京芝RC)
渡辺 俊之(東京みなとRC)
藤原 正義(東京レインボー RC)

芝RCは最大105名の時もあったが、一時期83名まで減少した時期もあった。現在は91名まで戻している。増強支援策として
1) 人事異動で退会する時は後任者を紹介する。2) 入会金35万円を20万円に減額した。3) 退会会員は後任を紹介する。4) 商工会議所、法人会、同窓会の活用による新会員発掘。5) 退会した会員へ再入会要請を行い2名が再入会した。

退会防止策として 1) 入会3年未満の会員を中心に青芝会というものを作り、先輩会員との懇親を深めている。2) 又80歳以上で、15年以上在籍した会員の年会費を半額にしている。女性会員の入会についても今後の検討課題とする。財政面では余剰金があり、多少楽ではあるが、経費の削減は進めており、印刷物をPCを使って外注より内製に切り替えている。

みなとRCは42名でスタートしたが、現在は56名である。次年度は60名スタートを目標にしたい。増強策は芝RCとほぼ同じことをやっているが、人間の本能としてマズローの欲求5原則というものがあり、自我自尊の欲求、自己実現の欲求、群れたがる欲求などの心理面から新会員の発掘を検討している。財政面ではプロジェクトチームを作って改善に取り組んでいる。

レインボー RCは2001年に承認を得て47名でスタートし、一時期55名まで行ったが、現在は46名である。親睦と奉仕を両輪として 1) 明るく 2) 楽しく 3) さわやかをモットーにしている。また移動例会を定期的にやり、司会も会長だけでなく15名が交代で担当する。全会員の近況報告や女性会員が15名いるので同伴例会も定期的におこなっている。

財政面ではチャーターナイトをやったりして収入増を図り健全化に努力している。(庄司 記) ↑

IM全体会議(分科会報告)内容

IM全体会議は、三つの分科会が終了した午後4時15分から約40分間行われた。司会は 手貝哲夫南クラブ幹事。冒頭の挨拶で、ホストクラブである南クラブの 星野 欣也 会長より、全体テーマである「ロータリー 2世紀を迎えて、足元を固め、新しい一歩を」についての主旨説明があった。要旨は、「前年度ロータリー 100周年、つまり1世紀を終え、次の100年、2世紀を迎えるに当たり、各々のクラブがクラブ発展のため、原点を見つめなおした上で、新しい事に挑戦していきたい。」というものであった。

続いて各分科会での討議内容について、1人6分以上7分以内という厳しい条件の元、各分科会のレポーターから報告があった。

第一分科会は「クラブリーダーシッププラン…組織の簡素化と奉仕の効率化を目指して」当東京赤坂ロータリークラブの松永秀和会員が解り易く、会議の雰囲気充分伝わる見事な報告を行い喝采を浴びた。(各分科会での討議内容は別途掲載の通り)

第二分科会は、東京南クラブの 渡辺光康氏、第三分科会は、芝クラブの稲数則光氏が各々レポーターとしての報告を行った。

最後に 永富 邦雄 千代田グループガバナー補佐から以下の要旨の講評(感想)があり、閉会となった。

- ①IMは他クラブの情報を得て、自クラブに活用する場、是非参考にして欲しい。
- ②今回の三つのテーマは、RIテーマ「超我の奉仕」を実現する手段・対策と考えて欲しい。
- ③CLPは確かに解りにくいですが、東京赤坂ロータリークラブの積極性は賞讃に値する。他クラブの参考になる。
- ④昨年暮、東京赤坂ロータリークラブで加山 雄三ショーで聞いた彼のモットーである三冠王、つまり「関心」「感動」「感謝」は、非常に印象的であった。人間だけに与えられた特権として大事にしたい。(吉田用親 記)

懇親会

石井謙次

各部会、全体会議が終了し5時より懇親会が開催された。ホストクラブの南クラブの手貝幹事の司会で始まり、市川ガバナーより3月16、17に開催される地区大会の内容、また講演者の紹介があり、ぜひ沢山の方に出席頂き素晴らしい大会にしたいとの発言があった。

また5月26、27日にグアムで開催されるインターシティミーティングにも出席を頂きたいとのお願いもあった。

なおクラブリーダーシッププランについてはあくまで、手段であり目的ではない旨の発言があり、最後にぜひとも会員増強に励んでいただきたいと挨拶を締めくくられた。

その後7クラブの出席者が思い思いに懇親を深め、6時にレインボークラブの伊藤会長より閉会の辞があり、3時間にわたる2750地区千代田グループの2005～2006年度インターシティミーティングがお開きとなった。(了)

2月14日(火)午後6時から東京全日空ホテル37階スカイbuffetで、東京赤坂RC事務局新任の松尾裕美さんの歓迎会を兼ねて、東京麻布RCとの両事務局の『親睦顔合せ会』が開催されました。出席者は、それぞれの事務局職員に現会長・幹事に次期会長・幹事の9名。現在同室に事務局を構える両クラブが、松尾さんの着任を機に事務上の弾力的な協力と親睦を深められるような関係が築けるようしたいとの意見で一致。和やかな雰囲気のうちに散会しました。



出席者: 赤坂RC・小杉修造、福島賢哉、荒木昭文、石井謙次、松尾裕美
麻布RC・清原元輔、川久保新一、三浦亨子、細谷景子

(順不同・敬称略)